

「バドミントン講習会～トップ選手と交流しよう～」

国立赤城青少年交流の家では、1月30日(土)の日帰りの日程で、子どもゆめ基金オープンドリム事業「バドミントン講習会～トップ選手と交流しよう～」を開催しました。

この事業は、バドミントンの世界トップ選手を招き、青少年との交流の場を提供し、健全な育成を図ることを目的として開催され、群馬県を中心に関東近県から小学生・中学生159名の参加がありました。

講師は元インドネシアナショナルチーム、シドニー・アテネオリンピックシングルス代表米倉加奈子選手他2名の計7名を招いて、スマッシュやヘアピンなどのノック練習、選手とのチャレンジゲームが行われました。

参加した皆さんは、意欲が非常に高く、バドミントンの基礎から上手くなるコツまで、熱心に世界トップ選手からの指導を受けていました。また、チャレンジゲームでは、選手と直接、試合をしてもらい、たくさんの技術やスポーツをとおしての礼儀作法などを学ぶ貴重な体験となり、楽しく、得るものの多い講習会になりました。

「初めて本物のバドミントン選手を見て、感激した」「世界トップレベルの凄さに圧倒された」「実際にオリンピック選手とゲームができ、もっとバドミントンが好きになり、上手くなりたいと思った」など、多くの成果が聞かれました。講師になっていただいた選手の方々、参加者の皆さん、本当にありがとうございました。



開会式



選手紹介



ノック練習



選手のデモンストレーション



選手とのチャレンジゲーム



トップ選手の皆さんありがとうございました。